

## 課題: 人生の意味を考える

- ・ ヴィクトール・フランクル『夜と霧』(新版)を購入し、一冊精読しなさい。一般に、アマゾン(www.amazon.co.jp)の中古図書を購入すると割引率が多い。
- ・ ①フランクルの哲学を、あなたの言葉で説明しなさい。
- ・ ②フランクルの考え方にしたがって、あなたの人生を具体的に変えなさい。どのように変えたか、どう行動したか、その理由は何か、あなたの変化と行動がもたらした結果と顛末をまとめなさい。
- ・ 提出方法:
  - 課題〆切: 6月7日(月)午前1時。
  - メールにて、樋口(higuchi@okinawa-u.ac.jp)まで送付のこと。
  - メール表題に、「幸福論」「提出者名(あなたの氏名)」を表記のこと。
  - 原則として、ファイルを添付せず、メールに直接原稿をコピー&ペーストしたものを送付のこと(多数のメールを私が確認しやすいため。画像を添付するなど、メールに直接ペーストしにくい場合などはこの限りではない。)
  - レポートは、その内容のみならず、やりとりの全てが評価対象である。人に文章を送るとき、相手からみて、徹底的にわかりやすく、読みやすい文章を送る心遣いは、とても大切な人間力の一つである。提出時の科目名、提出者の名前と学籍番号、課題が出された日付はもちろん、読みやすい字体、文章の意味のまとめりごとの改行、論旨の明確さなど、それがどれだけ面倒でも、丁寧に、相手の気持ちと立場に立ってレポートを作成するように。それは、あなたのためである。
  - ・ レポートの評価は主に2つのポイントがある。第一に、提示された課題図書に対する理解の深さ。そして、第二に、課題に取り組み、行動する際の勇気である。真の勇気とは、例えば: 人に「助けて」と告白すること、人に対して NO ということ、失敗する覚悟で挑戦すること、恥をかく覚悟で自分を人目に晒すこと、最も気まずい相手と正直に向き合うこと、自分の恐れを認めること、カッコつけていると思われても正しいことを貫くこと、言いにくいことをごまかさずに正直に伝えること、自分の気持ちをまっすぐに伝えること……。言葉を変えれば、カッコ悪い自分に胸を張る勇気、自分のことを無防備に晒す覚悟のことである。なぜならば、無防備に生きることこそが、最も勇気ある生き方だからだ。詳細は、トリニティアアップデート「履修のルールと評価基準など」を参照のこと。
  - 本課題が不可であれば、単位を獲得をすることができない。



本書は、みずからユダヤ人としてアウシュヴィッツに囚われ、奇蹟的に生還した著者の「強制収容所における一心理学者の体験」(原題)である。1956年に初版刊行と同時にベストセラーになり、約40年を経たいまなお、つねに多くの新しい読者をえている。

この本は冷静な心理学者の眼でみられた、限界状況における人間の姿の記録である。被収容者たちがどうやって精神的な平衡を保ち、または崩壊させてゆくのか。著者の思索は人間存在そのものにまで及ぶ。人間を解き明かすために、収容所という舞台を借りているとさえ思えるほど、その洞察は深遠にして哲学的である。そこには、人間の精神の高さと人間の善意への限りない信仰があふれている。

「生きることからなにを期待するかではなく、生きることがわたしたちからなにを期待しているかが問題」というような忘れがたい一節が光をおびている。本書の読後感は一手記のそれではなく、すぐれた文学や哲学書のものであろう。

(アマゾンの商品説明より抜粋)

2021年4月8日揭示